

寅さん歩 その21

南フランス プロヴァンス 散歩—3

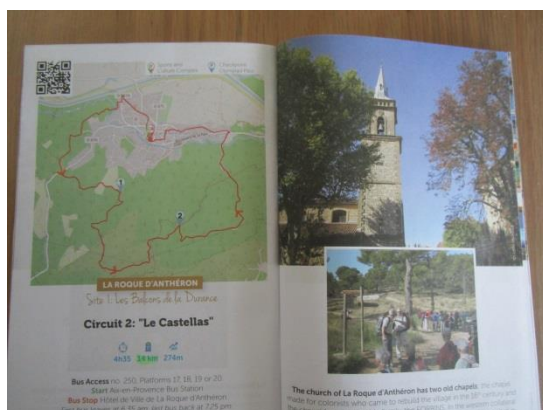


平野 武宏

2019年（令和元年）10月開催の第16回国際市民スポーツ連盟オリンピックフランス大会に参加しました。2年に1回の開催で、開催地は持ち回り、今回は南フランス エクス・アン・プロヴァンスです。国際市民スポーツ（ウォーキング・スイミング・サイクリング他）を自由に楽しむ大会です。

〔2019年10月17日〕 大会2日目 サイト：1 ラ・ロック・ダンテロン

ウォーキングコースは5・11・14・23kmがあり、14kmに挑戦しました。写真下のウォークガイドには高低差274m、250番のバスを利用と記載。



路線バスで、専用ではありません。乗客を座席数以上は乗せず、乗れない人は次のバスとなります。なんとか10名全員乗れました。バス停のアナウンスも良くわからず、最初の停留所で降りたら、23kmのスタート地点と分かり、あわてて、また乗り込みました。おかげでハンガリーのウォーカー達に冷やかされました。日本の台風被害はフランスでも報道されているようで、「長野県は近いのか？」と質問されました。ニュースで千曲川の氾濫を知ったようです。

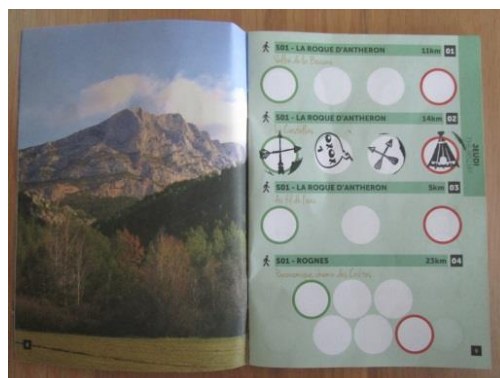


スタート受付（写真左）から少し下るとロータリー（写真下左）があります。フランスの道路にはロータリーを多く設けて、スピード制限に役立っているようです。この先にコースのシールがなく迷いました。

コースなりに下りた先発メンバーがシールを見つけてひと安心。まさにチームプレーです。少し歩くと山に上ります。道には石灰岩の小石が多くあり、大変歩きにくかったです。



最初のチェックポイント（写真上右・写真下左）に到着です。パスポートに印（写真下右）をもらいます。ここでの失敗は蜂蜜レモン風の原液をコップになみなみと入れ、そのまま飲みました。とても飲めませんでした。皆さんは水で薄めていました。



更に上り道（写真右）を進みます。ファミリーで参加のミニスカートの少女の後ろ姿（写真右）や時々見せる景色（写真下左）が疲れを癒します。



このファミリーは分岐点でロングコースへ行ってしまう残念でした。次のチェックポイント（写真右下）に到着。私達の到着が遅かったのか、用意していないのか、飲物などはありませんでした。ムッシュが二人、暇そうにしていました。



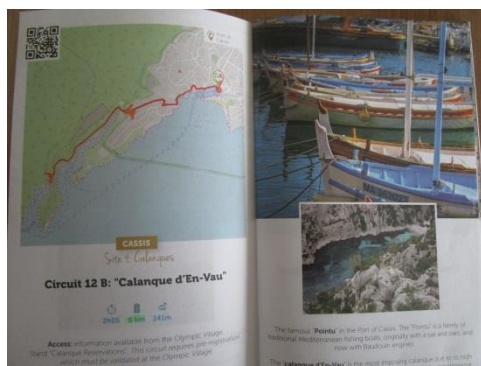
ウォーキングで一番困るのがトイレです。特に山に上がったこのコースにはトイレはありません。皆さんは茂みに隠れて用を足していたようです。急を要したのか、コースのすぐ脇の茂みでのマダムの光景を目撃した寅次郎、「びっくりポン！！」でした。外国人ウォーカーから東松山スリーダーの中止のニュースを聞きました。日本の台風による水害被害は相当ひどいようです。夕食はイタリア料理で野菜たっぷりの前菜、ピザ、ムール貝をシェア。

【2019年10月18日】 大会3日目 サイト：4 湾・入江

環境保護地域なので事前の申し込み制です。6・9・13kmがあり、9kmコースでも高低差が377mあると知り、高低差141mの6kmコースに変更です。この日のバス停は前日とは別の所でした。（写真下左）



写真上右はサイト4のスタート受付の建物、写真下左は受付のマダムです。帰りのバスはここから14時・16時と確認。更に別のバスで下の海辺まで下るとカシスの街です。入江は漁港ですが、ヨットも停泊しています。





漁師さんが魚を売っていました。
値段は 12~65 ユーロと表示。



写真上左や写真下はカシスの海辺で、ハワイのような光景です。



遠慮したロングコースは写真上右の山を上ったとのこと。

海を見ながらランチを済ませ、上に行くバス乗り場を探したが、見つからず、坂を歩くことに、2/3歩いた所でバスに拾われました。

幸運にも空席があり、FWA会員が乗っていてドライバーに頼んでくれたそうです。お蔭さまで14時

のバスに間に合いました。バス内では前のフランスマダムからお菓子をもらい、日本のおせんべいを差し上げ、喜ばれました。

同行の長津さんの奥さんの友人の誕生日とのこと、夕食でサプライズのお祝い(ブランデーケーキのデザート)です。



ハッピーバースデーの歌声がフランスのレストランに響きました。

次回は 南フランス プロヴァンス散歩—4 (最終回) です。

平野 寅次郎 拝